

結果の概要

1 国民医療費の状況

令和4年度の国民医療費は46兆6,967億円、前年度の45兆3,599億円に比べ1兆6,608億円、3.7%の増加となっている。

人口一人当たりの国民医療費は37万3,700円、前年度の35万8,800円に比べ1万4,900円、4.2%の増加となっている。

国民医療費の国内総生産（GDP）に対する比率は8.24%（前年度8.13%）となっている。

（図1、表1、統計表第1表）

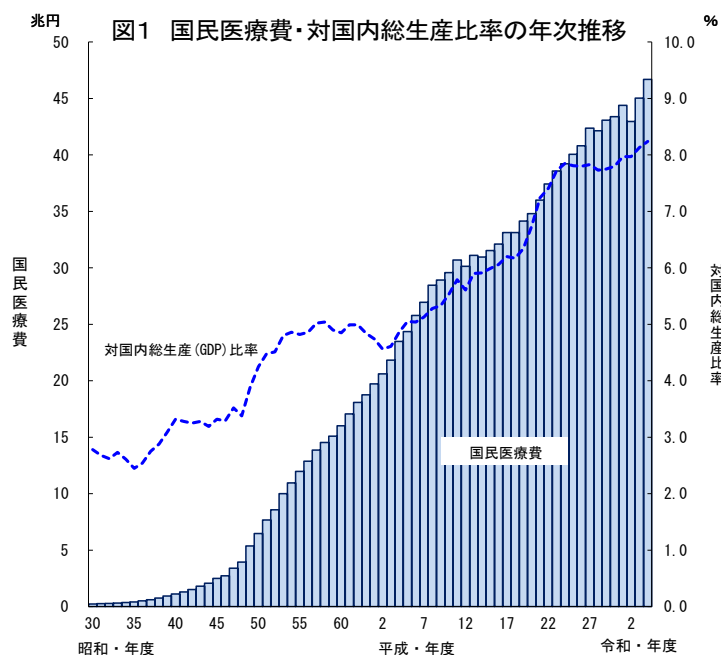


表1 国民医療費・対国内総生産比率の年次推移

年次	国民医療費		人口 一人当たり 国民医療費 (千円)	国内総生産 (GDP)		国内総生産 に対する 国民医療費 の比率 (%)
	(億円)	対前年度 増減率 (%)		対前年度 増減率 (%)	(億円)	
昭和29年度 (1954)	2 152	…	2.4	…	…	…
30 (’55)	2 388	11.0	2.7	12.5	85 979	2.78
40 (’65)	11 224	19.5	11.4	17.5	337 653	3.32
50 (’75)	64 779	20.4	57.9	19.1	1 523 616	4.25
60 (’85)	160 159	6.1	132.3	5.4	3 303 968	4.85
平成3年度 (’91)	218 260	5.9	176.0	5.6	4 736 076	4.61
4 (’92)	234 784	7.6	188.7	7.2	4 832 556	4.86
5 (’93)	243 631	3.8	195.3	3.5	4 826 076	△ 0.1
6 (’94)	257 908	5.9	206.3	5.6	5 119 588	6.1
7 (’95)	269 577	4.5	214.7	4.1	5 252 995	2.6
8 (’96)	284 542	5.6	226.1	5.3	5 386 596	2.5
9 (’97)	289 149	1.6	229.2	1.4	5 425 080	0.7
10 (’98)	295 823	2.3	233.9	2.1	5 345 641	△ 1.5
11 (’99)	307 019	3.8	242.3	3.6	5 302 986	△ 0.8
12 (2000)	301 418	△ 1.8	237.5	△ 2.0	5 376 142	1.4
13 (’01)	310 998	3.2	244.3	2.9	5 274 105	△ 1.9
14 (’02)	309 507	△ 0.5	242.9	△ 0.6	5 234 659	△ 0.7
15 (’03)	315 375	1.9	247.1	1.7	5 262 199	0.5
16 (’04)	321 111	1.8	251.5	1.8	5 296 379	0.6
17 (’05)	331 289	3.2	259.3	3.1	5 341 062	0.8
18 (’06)	331 276	△ 0.0	259.3	△ 0.0	5 372 579	0.6
19 (’07)	341 360	3.0	267.2	3.0	5 384 855	0.2
20 (’08)	348 084	2.0	272.6	2.0	5 161 749	△ 4.1
21 (’09)	360 067	3.4	282.4	3.6	4 973 642	△ 3.6
22 (’10)	374 202	3.9	292.2	3.5	5 048 737	1.5
23 (’11)	385 850	3.1	301.9	3.3	5 000 462	△ 1.0
24 (’12)	392 117	1.6	307.5	1.9	4 994 206	△ 0.1
25 (’13)	400 610	2.2	314.7	2.3	5 126 775	2.7
26 (’14)	408 071	1.9	321.1	2.0	5 234 228	2.1
27 (’15)	423 644	3.8	333.3	3.8	5 407 408	3.3
28 (’16)	421 381	△ 0.5	332.0	△ 0.4	5 448 299	0.8
29 (’17)	430 710	2.2	339.9	2.4	5 557 125	2.0
30 (’18)	433 949	0.8	343.2	1.0	5 565 705	0.2
令和元年度 (’19)	443 895	2.3	351.8	2.5	5 568 454	0.0
2 (’20)	429 665	△ 3.2	340.6	△ 3.2	5 390 091	△ 3.2
3 (’21)	450 359	4.8	358.8	5.3	5 536 423	2.7
4 (’22)	466 967	3.7	373.7	4.2	5 664 897	2.3

注:1) 平成12年4月から介護保険制度が開始されたことに伴い、従来国民医療費の対象となっていた費用のうち介護保険の費用に移行したものがあがるが、これらは平成12年度以降、国民医療費に含まれていない。

2) 国内総生産(GDP)は、内閣府「国民経済計算」による。

2 制度区分別国民医療費

制度区分別にみると、公費負担医療給付分は3兆4,884億円（構成割合7.5%）、医療保険等給付分は21兆1,015億円（同45.2%）、後期高齢者医療給付分は16兆4,544億円（同35.2%）、患者等負担分は5兆6,524億円（同12.1%）となっている。

対前年度増減率をみると、公費負担医療給付分は5.3%の増加、医療保険等給付分は2.6%の増加、後期高齢者医療給付分は4.6%の増加、患者等負担分は4.2%の増加となっている。（表2、統計表第2表、参考1）

表2 制度区分別国民医療費

制度区分	令和4年度（2022）		令和3年度（2021）		対前年度	
	国民医療費（億円）	構成割合（%）	国民医療費（億円）	構成割合（%）	増減額（億円）	増減率（%）
総数	466 967	100.0	450 359	100.0	16 608	3.7
公費負担医療給付分	34 884	7.5	33 136	7.4	1 748	5.3
医療保険等給付分	211 015	45.2	205 706	45.7	5 309	2.6
医療保険	207 960	44.5	202 569	45.0	5 391	2.7
被用者保険	117 995	25.3	111 508	24.8	6 487	5.8
被保険者	65 907	14.1	62 134	13.8	3 773	6.1
被扶養者	43 917	9.4	41 341	9.2	2 576	6.2
高齢者 ¹⁾	8 170	1.7	8 033	1.8	137	1.7
国民健康保険	89 965	19.3	91 060	20.2	△ 1 095	△ 1.2
高齢者以外	53 569	11.5	54 145	12.0	△ 576	△ 1.1
高齢者 ¹⁾	36 396	7.8	36 915	8.2	△ 519	△ 1.4
その他 ²⁾	3 055	0.7	3 137	0.7	△ 82	△ 2.6
後期高齢者医療給付分	164 544	35.2	157 246	34.9	7 298	4.6
患者等負担分 ³⁾	56 524	12.1	54 270	12.1	2 254	4.2

注：1) 被用者保険及び国民健康保険適用の高齢者は70歳以上である。

2) その他は、労働者災害補償保険法、国家公務員災害補償法、地方公務員災害補償法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法、防衛省の職員の給与等に関する法律、公害健康被害の補償等に関する法律及び健康被害救済制度による救済給付等の医療費である。

3) 患者等負担分は、患者負担及び自動車損害賠償責任保険による支払い分である。

3 財源別国民医療費

財源別にみると、公費は17兆6,837億円（構成割合37.9%）、そのうち国庫は11兆7,912億円（同25.3%）、地方は5兆8,925億円（同12.6%）となっている。保険料は23兆3,506億円（同50.0%）、そのうち事業主は10兆1,316億円（同21.7%）、被保険者は13兆2,189億円（同28.3%）となっている。また、その他は5兆6,625億円（同12.1%）、そのうち患者負担は5兆4,395億円（同11.6%）となっている。（表3、統計表第3表、参考1）

表3 財源別国民医療費

財源	令和4年度（2022）		令和3年度（2021）		対前年度	
	国民医療費（億円）	構成割合（%）	国民医療費（億円）	構成割合（%）	増減額（億円）	増減率（%）
総数	466 967	100.0	450 359	100.0	16 608	3.7
公費	176 837	37.9	171 025	38.0	5 812	3.4
国庫	117 912	25.3	114 027	25.3	3 885	3.4
地方	58 925	12.6	56 998	12.7	1 927	3.4
保険料	233 506	50.0	224 957	50.0	8 549	3.8
事業主	101 316	21.7	97 376	21.6	3 940	4.0
被保険者	132 189	28.3	127 581	28.3	4 608	3.6
その他 ¹⁾	56 625	12.1	54 378	12.1	2 247	4.1
患者負担（再掲）	54 395	11.6	52 094	11.6	2 301	4.4

注：1) その他は、患者負担及び原因者負担（公害健康被害の補償等に関する法律、健康被害救済制度による救済給付及び自動車損害賠償責任保険による支払い分）である。

4 診療種類別国民医療費

診療種類別にみると、医科診療医療費は33兆8,255億円（構成割合72.4%）、そのうち入院医療費は17兆3,524億円（同37.2%）、入院外医療費は16兆4,731億円（同35.3%）となっている。また、歯科診療医療費は3兆2,275億円（同6.9%）、薬局調剤医療費は7兆9,903億円（同17.1%）、入院時食事・生活医療費は7,290億円（同1.6%）、訪問看護医療費は4,633億円（同1.0%）、療養費等は4,610億円（同1.0%）となっている。

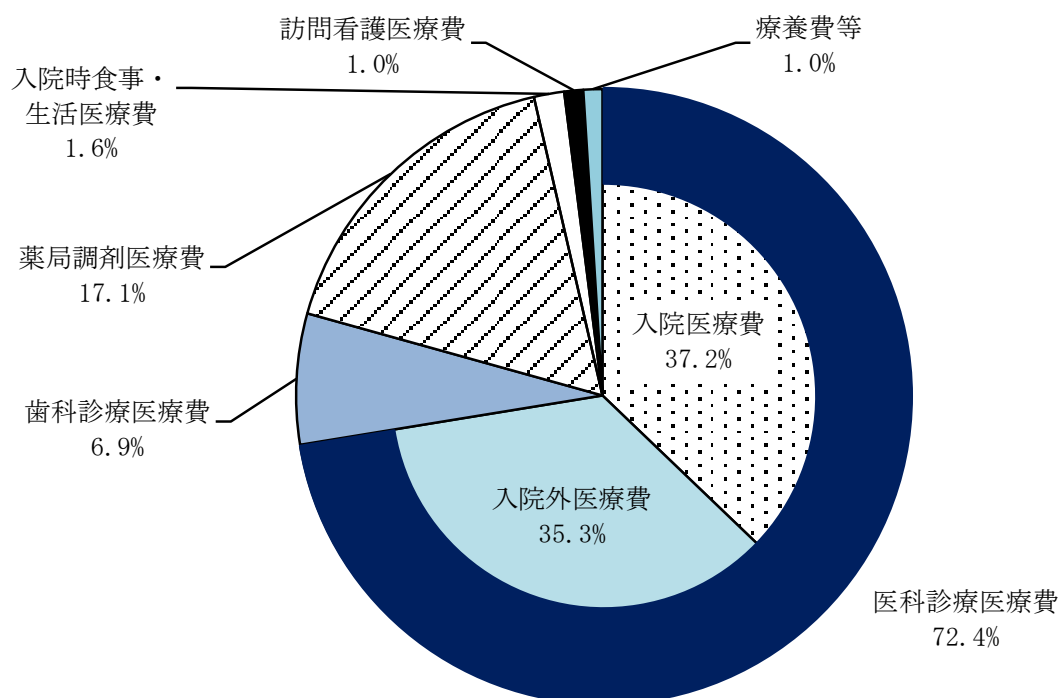
対前年度増減率をみると、医科診療医療費は4.4%の増加、歯科診療医療費は2.5%の増加、薬局調剤医療費は1.4%の増加となっている。（表4、図2、統計表第4表、参考1）

表4 診療種類別国民医療費

診療種類	令和4年度（2022）		令和3年度（2021）		対前年度	
	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	国民医療費 （億円）	構成割合 （%）	増減額 （億円）	増減率 （%）
総数	466 967	100.0	450 359	100.0	16 608	3.7
医科診療医療費	338 255	72.4	324 025	71.9	14 230	4.4
入院医療費	173 524	37.2	168 551	37.4	4 973	3.0
病一般診療所	169 863	36.4	164 849	36.6	5 014	3.0
入院外医療費	3 661	0.8	3 702	0.8	△ 41	△ 1.1
病一般診療所	164 731	35.3	155 474	34.5	9 257	6.0
病一般診療所	69 958	15.0	67 815	15.1	2 143	3.2
一般診療所	94 773	20.3	87 659	19.5	7 114	8.1
歯科診療医療費	32 275	6.9	31 479	7.0	796	2.5
薬局調剤医療費	79 903	17.1	78 794	17.5	1 109	1.4
入院時食事・生活医療費	7 290	1.6	7 407	1.6	△ 117	△ 1.6
訪問看護医療費	4 633	1.0	3 929	0.9	704	17.9
療養費等	4 610	1.0	4 725	1.0	△ 115	△ 2.4

図2 診療種類別国民医療費構成割合

令和4年度（2022）



5 年齢階級別国民医療費

年齢階級別にみると、0～14歳は2兆6,359億円（構成割合5.6%）、15～44歳は5兆7,317億円（同12.3%）、45～64歳は10兆2,140億円（同21.9%）、65歳以上は28兆1,151億円（同60.2%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満は20万9,500円、65歳以上は77万5,900円となっている。そのうち医科診療医療費では、65歳未満が14万2,300円、65歳以上が58万5,100円となっている。歯科診療医療費では、65歳未満が2万1,600円、65歳以上が3万6,200円となっている。薬局調剤医療費では、65歳未満が3万9,400円、65歳以上が12万4,000円となっている。（表5、統計表第5表、参考1）

表5 年齢階級別国民医療費

年齢階級	令和4年度(2022)			令和3年度(2021)			対前年度	
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	人口一人当たり国民医療費	
							増減額 (千円)	増減率 (%)
総 数								
総 数	466 967	100.0	373.7	450 359	100.0	358.8	14.9	4.2
65歳未満	185 816	39.8	209.5	177 323	39.4	198.6	10.9	5.5
0～14歳	26 359	5.6	181.7	24 178	5.4	163.5	18.2	11.1
15～44歳	57 317	12.3	144.0	53 725	11.9	133.3	10.7	8.0
45～64歳	102 140	21.9	296.8	99 421	22.1	290.7	6.1	2.1
65歳以上	281 151	60.2	775.9	273 036	60.6	754.0	21.9	2.9
70歳以上(再掲)	242 473	51.9	844.8	233 696	51.9	824.5	20.3	2.5
75歳以上(再掲)	182 187	39.0	940.9	172 435	38.3	923.4	17.5	1.9
医科診療医療費(再掲)								
総 数	338 255	100.0	270.7	324 025	100.0	258.2	12.5	4.8
65歳未満	126 251	37.3	142.3	119 542	36.9	133.9	8.4	6.3
0～14歳	18 648	5.5	128.6	16 685	5.1	112.9	15.7	13.9
15～44歳	37 568	11.1	94.4	34 490	10.6	85.6	8.8	10.3
45～64歳	70 034	20.7	203.5	68 367	21.1	199.9	3.6	1.8
65歳以上	212 005	62.7	585.1	204 482	63.1	564.7	20.4	3.6
70歳以上(再掲)	183 957	54.4	640.9	175 915	54.3	620.6	20.3	3.3
75歳以上(再掲)	139 416	41.2	720.0	130 891	40.4	700.9	19.1	2.7
歯科診療医療費(再掲)								
総 数	32 275	100.0	25.8	31 479	100.0	25.1	0.7	2.8
65歳未満	19 175	59.4	21.6	18 959	60.2	21.2	0.4	1.9
0～14歳	2 609	8.1	18.0	2 673	8.5	18.1	△ 0.1	△ 0.6
15～44歳	7 232	22.4	18.2	7 329	23.3	18.2	0.0	0.0
45～64歳	9 334	28.9	27.1	8 957	28.5	26.2	0.9	3.4
65歳以上	13 100	40.6	36.2	12 520	39.8	34.6	1.6	4.6
70歳以上(再掲)	10 554	32.7	36.8	9 994	31.7	35.3	1.5	4.2
75歳以上(再掲)	7 100	22.0	36.7	6 577	20.9	35.2	1.5	4.3
薬局調剤医療費(再掲)								
総 数	79 903	100.0	63.9	78 794	100.0	62.8	1.1	1.8
65歳未満	34 984	43.8	39.4	33 482	42.5	37.5	1.9	5.1
0～14歳	4 620	5.8	31.9	4 274	5.4	28.9	3.0	10.4
15～44歳	10 901	13.6	27.4	10 342	13.1	25.7	1.7	6.6
45～64歳	19 463	24.4	56.5	18 866	23.9	55.2	1.3	2.4
65歳以上	44 920	56.2	124.0	45 312	57.5	125.1	△ 1.1	△ 0.9
70歳以上(再掲)	38 169	47.8	133.0	38 345	48.7	135.3	△ 2.3	△ 1.7
75歳以上(再掲)	27 769	34.8	143.4	27 535	34.9	147.5	△ 4.1	△ 2.8

また、年齢階級別国民医療費を性別にみると、0～14歳の男は1兆4,463億円（構成割合6.4%）、女は1兆1,897億円（同4.9%）、15～44歳の男は2兆5,130億円（同11.1%）、女は3兆2,187億円（同13.4%）、45～64歳の男は5兆3,279億円（同23.5%）、女は4兆8,861億円（同20.3%）、65歳以上の男は13兆3,602億円（同59.0%）、女は14兆7,549億円（同61.4%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満の男は20万6,200円、女は21万2,800円、65歳以上の男は84万9,600円、女は71万9,400円となっている。（表6、統計表第5表）

表6 年齢階級、性別国民医療費

令和4年度（2022）

年 齢 階 級	男			女		
	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)	国民医療費 (億円)	構成割合 (%)	人口一人当たり 国民医療費 (千円)
	総 数					
総 数	226 473	100.0	372.7	240 494	100.0	374.7
65 歳 未 満	92 871	41.0	206.2	92 945	38.6	212.8
0 ～ 14 歳	14 463	6.4	194.7	11 897	4.9	168.2
15 ～ 44 歳	25 130	11.1	123.6	32 187	13.4	165.5
45 ～ 64 歳	53 279	23.5	308.5	48 861	20.3	284.9
65 歳 以 上	133 602	59.0	849.6	147 549	61.4	719.4
70歳以上(再掲)	112 248	49.6	930.7	130 226	54.1	782.6
75歳以上(再掲)	79 670	35.2	1 040.8	102 517	42.6	875.5
	医科診療医療費(再掲)					
総 数	165 901	100.0	273.1	172 354	100.0	268.5
65 歳 未 満	63 824	38.5	141.7	62 426	36.2	142.9
0 ～ 14 歳	10 247	6.2	138.0	8 401	4.9	118.8
15 ～ 44 歳	16 116	9.7	79.2	21 452	12.4	110.3
45 ～ 64 歳	37 462	22.6	216.9	32 573	18.9	189.9
65 歳 以 上	102 077	61.5	649.1	109 928	63.8	535.9
70歳以上(再掲)	86 163	51.9	714.5	97 794	56.7	587.7
75歳以上(再掲)	61 494	37.1	803.3	77 922	45.2	665.5
	歯科診療医療費(再掲)					
総 数	14 598	100.0	24.0	17 677	100.0	27.5
65 歳 未 満	8 905	61.0	19.8	10 270	58.1	23.5
0 ～ 14 歳	1 328	9.1	17.9	1 281	7.2	18.1
15 ～ 44 歳	3 239	22.2	15.9	3 993	22.6	20.5
45 ～ 64 歳	4 338	29.7	25.1	4 996	28.3	29.1
65 歳 以 上	5 693	39.0	36.2	7 407	41.9	36.1
70歳以上(再掲)	4 502	30.8	37.3	6 052	34.2	36.4
75歳以上(再掲)	2 926	20.0	38.2	4 174	23.6	35.7
	薬局調剤医療費(再掲)					
総 数	38 099	100.0	62.7	41 804	100.0	65.1
65 歳 未 満	17 371	45.6	38.6	17 613	42.1	40.3
0 ～ 14 歳	2 624	6.9	35.3	1 996	4.8	28.2
15 ～ 44 歳	5 029	13.2	24.7	5 872	14.0	30.2
45 ～ 64 歳	9 718	25.5	56.3	9 745	23.3	56.8
65 歳 以 上	20 729	54.4	131.8	24 191	57.9	117.9
70歳以上(再掲)	17 224	45.2	142.8	20 945	50.1	125.9
75歳以上(再掲)	11 928	31.3	155.8	15 841	37.9	135.3

6 傷病分類別医科診療医療費

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」6兆1,731億円（構成割合18.2%）が最も多く、次いで「新生物<腫瘍>」4兆9,692億円（同14.7%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆6,708億円（同7.9%）、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆5,651億円（同7.6%）、「腎尿路生殖器系の疾患」2兆4,056億円（同7.1%）となっている。

年齢階級別にみると、65歳未満では「新生物<腫瘍>」1兆6,544億円（同13.1%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆9,180億円（同23.2%）が最も多くなっている。

また、性別にみると、男では「循環器系の疾患」（同19.8%）、「新生物<腫瘍>」（同16.2%）、「腎尿路生殖器系の疾患」（同7.8%）が多く、女では「循環器系の疾患」（同16.7%）、「新生物<腫瘍>」（同13.3%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（同10.0%）が多くなっている。（表7、図3、統計表第6表）

表7 年齢階級、傷病分類別医科診療医療費（上位5位）

傷病分類 ¹⁾	令和4年度(2022)			令和3年度(2021)			対前年度	
	順位 ³⁾	医科診療医療費(億円)	構成割合(%)	順位 ³⁾	医科診療医療費(億円)	構成割合(%)	増減額(億円)	増減率(%)
総数		338 255	100.0		324 025	100.0	14 230	4.4
循環器系の疾患	1	61 731	18.2	1	61 116	18.9	615	1.0
新生物<腫瘍>	2	49 692	14.7	2	48 428	14.9	1 264	2.6
筋骨格系及び結合組織の疾患	3	26 708	7.9	3	26 076	8.0	632	2.4
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	25 651	7.6	4	24 935	7.7	716	2.9
腎尿路生殖器系の疾患	5	24 056	7.1	5	23 143	7.1	913	3.9
その他 ²⁾		150 417	44.5		140 327	43.3	10 090	7.2
65歳未満								
総数		126 251	100.0		119 542	100.0	6 709	5.6
新生物<腫瘍>	1	16 544	13.1	1	16 288	13.6	256	1.6
循環器系の疾患	2	12 551	9.9	2	12 446	10.4	105	0.8
呼吸器系の疾患	3	11 872	9.4	4	9 583	8.0	2 289	23.9
精神及び行動の障害	4	10 594	8.4	3	10 503	8.8	91	0.9
腎尿路生殖器系の疾患	5	9 093	7.2	5	8 202	6.9	891	10.9
その他 ²⁾		65 596	52.0		62 520	52.3	3 076	4.9
65歳以上								
総数		212 005	100.0		204 482	100.0	7 523	3.7
循環器系の疾患	1	49 180	23.2	1	48 670	23.8	510	1.0
新生物<腫瘍>	2	33 148	15.6	2	32 139	15.7	1 009	3.1
筋骨格系及び結合組織の疾患	3	18 775	8.9	3	18 085	8.8	690	3.8
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	17 823	8.4	4	17 262	8.4	561	3.2
腎尿路生殖器系の疾患	5	14 963	7.1	5	14 940	7.3	23	0.2
その他 ²⁾		78 116	36.8		73 386	35.9	4 730	6.4

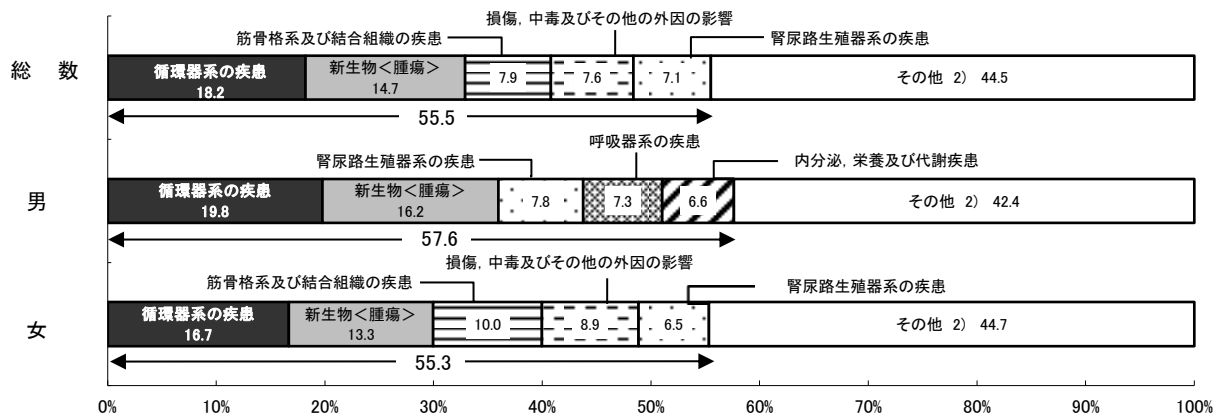
注：1) 傷病分類は、ICD-10（2013年版）に準拠し、主傷病により分類している。

2) その他は、令和4年度の上位5傷病以外の傷病である。

3) 順位は、各年度の順位である。

図3 性別にみた傷病分類別医科診療医療費構成割合（上位5位）

令和4年度(2022)



注：1) 傷病分類は、ICD-10（2013年版）に準拠し、主傷病により分類している。

2) その他は、上位5傷病以外の傷病である。

7 都道府県別国民医療費

都道府県（患者住所地）別にみると、東京都が4兆8,224億円と最も高く、次いで大阪府が3兆6,082億円、神奈川県が3兆1,244億円となっている。また、鳥取県が2,082億円と最も低く、次いで島根県が2,718億円、福井県が2,803億円となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、高知県が47万8,900円と最も高く、次いで鹿児島県が45万6,500円、徳島県が44万8,400円となっている。また、埼玉県が33万2,000円と最も低く、次いで千葉県が33万4,100円、神奈川県が33万8,400円となっている。（図4、統計表第7表）

図4 都道府県別にみた国民医療費・人口一人当たり国民医療費

令和4年度（2022）

